

5/27

# 生協 総代 選挙 逆管逆出を民主的に行之？ 白員のものに民主化するために全学は団結しよう？

## 生協を真に組 全学連支持会議

「大学に入って一番いやな事は、並んで食べなければならぬ、まじい昼食」(新生・回生)「教養にも事務部を占めてほしい」(教養の学生)「今年の卒業生は、出資金二〇〇円を返してもうってけないうたが、来年はせめても返してほしい」(4回生)これはいずれも生協に対する学生の切実な声である。生協は私たちの学生生活と密接に結びついていくからこそ、生協に対する要求は数多く、しかも、きわめて切実だ。

私たちは、生協を私たちの生活と勉学の条件を作り、発展させていく組織であり、また、他でもない、それこそ自分たちの手でつくりあげていくものだと考えている。

しかし、今や、市大生協は、この様な、私たちの望む方向とは反対の方向へと進んでいるようだ。生協は、組合員の利益を守り、組合員全てが形成するものであり、一部の人の手によって人物化されるものでは決してない。

### 疑惑にみちみちた生協選挙選出

生協の総代へ生協の最高決定機関で、組合員から各選挙区——学生は各学部——から選出される選挙に先だって行なわれた選挙(選挙管理委員会選出の過程で生協理(総代会による選挙による生協の代表組織)事会によって行なわれた、きわめて非民主的、組合員無視の事態がますます明白になってきている。

この選挙選出は5月15日をメ切りとして、理事会によって公算されたのであるが、これには、一部3名が立候補した。そしてそのうちの「定款(規約)に基いた公正な選挙選出を求めた」6名の候補者を、その申し入れを完全に無視し、全員をしのめだし、その他の7名を選挙として選出した。この過程で、きわめて奇妙なことが発生したのである。

事実上 立候補者でもないものを選挙  
その「A」は、選挙公算のメ切り5月15日の時までに立候補していなかった人物(経済——本城、二部周——三輪)が選挙として理事会によって選出されているのである。

15日5時から、選出された16日5時までの間に一体どのような工作がなされたのか。  
事実上 「民主主義を敵」とする全共斗学生と選挙に

そして、Aには、エー、井尻、法——谷口など全共斗として名前をばせ、学内で封鎖をはじめとして、数々の暴力事件をひきおこした人物が堂々と名を連ねて選出されていることである。へ法谷口は昨年の

自分たちの気にいらぬ発言には暴力的に力をつけるといふような人物が、どうして「道徳的に立派」なのだろうか。

事実上 この事態を何も知らなかった理事長

さらに、おそろくべきことには、以上の様な事態を理事長には一切知らずして、この選出が行なわれた16日の理事会のこと、16日午後10時現在、生協理事長は、誰が選ばれていくのか、名前さえ知らなかったのである。

(つらへ続く)



## 全共斗一派による生協私物化を許すな

現在の生協は莫大な赤字(数千万円とも  
言われている)をかかえている。この様な  
赤字は一体どこからきたのか。ほかでもな  
い。要因はあの8ヶ月にわたる封鎖なのだ。  
へ封鎖によって学生が学校に來なくなるか  
ら。

これに対して、生協理事会は「封鎖は  
よっても下らされた生協の事業危機は……」  
へ終目付、生協は「と認めながらも、」  
封鎖を解除すれば、危機はなくなるだろう  
しという「単純経済主義的な発想をわれわれ  
は主体的拒否し、これを「組合員を中  
心とした内的な力量の総結集」自力更正  
に求めたい」と同じようなのである。こ  
れは、言い換れば、封鎖によって生協は危  
機に陥ったが、その要因による封鎖を行った

全共斗を擁護し、封鎖を支持し、それを一  
般組合員に転嫁した、ということである。  
へ具体的に言えば、ランチ類の値上げ、専  
門生協の半年間の閉鎖、書籍5分還元金の  
中止、人員の削減。

そしてハ無理事、ゆえに「生協に悪影響  
を及ぼしてしまっている」のだ。

そして、これらの経営の内容は一切組合  
員に明らかで、これら、総代会にさえはから  
れずに、理事会ではこぼれていっている。  
そして、昨年度は封鎖で学生が大学へ來な  
いという理由で一年一回の総代選挙を定款  
に違反して行なわれた。

生協理事会は、一体誰の利益を守り、誰  
のために働くのか。封鎖学生全共斗のため  
にか。全組合員のためにか。

## 生協を民主化し、要求の実現を

私たちは、生協の非民主的運営と、全共斗の生協私物化を許さず、学生の利益と要求を  
ほもり、発展させる生協をめざし、団結してたたかおう。